

浄化槽フォーラム in みやぎ

めぐる水 いのちの水

流しの向こうは…!

2012年

12月9日(日) 13:30~17:30

参加無料

エル・パーク仙台 6Fギャラリーホール
仙台市青葉区一番町4丁目11-1(三越定禅寺通り館)

ご出演者

- ◆ 須藤 隆一 東北大学大学院工学研究科教授 NPO法人環境生態工学研究所理事長
- ◆ 山田 一裕 東北工業大学工学部教授
- ◆ 新川 達郎 同志社大学大学院総合政策科学研究科教 NPO水・環境ネット東北代表理事
専門は行政学であり、大学では、行政管理論、公共政策論を教えている
- ◆ 赤星 たみこ 漫画家 浄化槽をはじめエコな暮らし方をテーマ
- ◆ 清水 康利 TOTO環境経営企画室長 東北大学にて節水型機器の研究に取り組んでいる

主催 環境省 浄化槽フォーラム

協力 宮城県 仙台市 (公社)宮城県生活環境事業協会 NPO法人水・環境ネット東北
(公財)日本環境整備教育センター (社)浄化槽システム協会



開催趣旨

浄化槽(合併処理浄化槽)は、各家庭のトイレの排水だけではなく、台所や風呂などから排出される生活雑排水を戸別に処理することができる優れた汚水処理システムである。

地域の水環境の保全、健全な水循環を図る上で浄化槽が果たす役割は大きく、またそれに十分応えうる能力も備えているが、それに対する一般住民の印象は必ずしも良いものではない。

原因の一つとしては、浄化槽のPR不足が上げられるが、具体的には様々な要因が絡んでいると考えられる。特に、行政の広報や事業者の営業活動による一方的な情報提供だけでは、必ずしも理解が進まないことから、より住民目線に立った対応が求められる。

このため、行政や浄化槽事業者と住民をマッチングする方法が必要であるが、その一つとして、水環境に関心の高いNPOなどに対して浄化槽の持つ役割や特長を理解を深めてもらい、間接的に住民や他団体へのネットワークを通じて理解浸透(特にイメージ改善)を図ることが重要である。

今回は、東日本大震災における浄化槽の現状などの報告等も加え広く参加者を募り浄化槽の一層の周知を図りたい。

「浄化槽フォーラム」は、水に関する環境保全活動をより活性化させるとともに、NPO等関係者の全国的な情報交換のネットワーク作りを通じて、浄化槽の普及促進を通じた水環境の保全を図るため、NPOを始めとする関係者が参集し、平成19年5月に設立された組織です。



Program

※会場の中に浄化槽等に関するパネル等の展示

ごあいさつ 浄化槽フォーラム代表理事 北尾 高嶺 (豊橋技術科学大学名誉教授)

1.講演：地球規模の環境問題 須藤 隆一 さん

2.事例：①東日本大震災後の排水施設等の現状 (宮城県)
②市町村設置型合併浄化槽の課題 (仙台市)
③東日本大震災における浄化槽の状況について
浄化槽の被害状況、管理者からの問合せ等 (公社)宮城県生活環境事業協会

3.鼎談： 新川 達郎 さん 赤星 たみこ さん 清水 康利 さん
コーディネーター 山田 一裕 さん

- 発生源対策 ○ 暮らし方 ○ 節水型機器開発 ○ 不安解消 (公共下水道に対して)
- 水循環の一環としての浄化槽 ○ 震災時はどうだったか



Access

地下鉄 仙台市営地下鉄 勾当台公園駅下車(南1番出口より地下道で連結)
バス 商工会議所前 または 定禅寺通市役所前下車



お問合せ

特定非営利活動法人 水・環境ネット東北

仙台市青葉区米ヶ袋3-3-11

E-mail mizunet@mizunet.org WEB <http://mizunet.org/>

TEL **022-723-1390** FAX **022-723-1391**

